

成人急性細菌性副鼻腔炎症例における細菌学的検討

富山 道夫

とみやま医院

2008年より2009年までに当院を受診した成人急性細菌性副鼻腔炎の膿性鼻汁より検出された *S.pneumoniae*124株と *H.influenzae*204株の薬剤感受性検査を行い、成人急性細菌性副鼻腔炎に対する抗菌薬選択について検討した。薬剤耐性菌は *S.pneumoniae*124株中 DRSP は40株 (32%)、*H.influenzae*204株中 ABPC耐性 *H.influenzae* は150株 (74%) 検出された。*S.pneumoniae* の68%を占める PSSP の薬剤感受性は、ペニシリン系抗菌薬が CDTR、GRNX より良好であり、成人急性細菌性副鼻腔炎に対する第一選択剤としてはペニシリン系抗菌薬が適当であると考えられた。DRSP、ABPC耐性 *H.influenzae* の薬剤感受性は、いずれも GRNX が CDTR より良好であり、成人急性細菌性副鼻腔炎に対する第二選択剤としては GRNX が適当であると思われた。